

令和5年度 地方公共団体実行計画策定研修 日程表

＜研修のゴール：地方公共団体実行計画（区域施策編）策定に必要なスキルを身につける＞

環境調査研修所

	8:50	(昼休み)										17:00
11/27 開		10:30～11:30 (60分) ＜基礎講義＞ 脱炭素政策に関する国内外の最新動向について	11:45～12:15 (30分) ＜オリエンテーション＞ ・研修趣旨、ワーク内容説明 ・自己紹介、グループ分け	(12:15～13:15)	13:15～14:05 (50分) ＜講義①＞ 地方公共団体実行計画制度について	14:15～15:15 (60分) ＜外部講義①＞ 実効性のある地方公共団体実行計画策定に向けて	15:30～17:00 (90分) ＜個人ワーク①＞ 事前課題で集めた情報をもとに、受講生毎に温室効果ガス排出量の推計・要因分析を行い、CO2削減目標、再生可能エネルギー導入目標を策定する。					
	10:00～10:20 (20分) 開講式	・地球温暖化の現状と科学的知見 ・脱炭素の動き（世界・国内） ・地域脱炭素の必要性・意義 ・地域脱炭素を支える仕組み	●グループ分け 社会条件（人口規模、気候、再生可能資源、産業構造等）や地理的条件の似た自治体で5人×6グループに分ける。	昼休み	・地方公共団体実行計画制度の概要・構成 ・地方公共団体実行計画制度の施行状況 ・地方公共団体実行計画制度への各種支援	・自治体の実効性のある地方公共団体実行計画を策定するための留意点等について講義いただく。	●ワーク内容 ・環境者作成「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（簡易版）」で目標設定方法、留意点を理解する。 ・各自、配布資料、事前課題で収集した情報（※1）を整理・分析し、所属する自治体の2050脱炭素実現に必要な目標を検討する。 一般財団法人ローカルグッド創生支援機構	※1…区域施策編策定にあたっては、各種ツールを活用し、「事務事業、産業構造、温室効果ガス排出量、再生可能エネルギー、地域課題」等の地域の現状を把握、分析しなくてはならないが、事前課題として実施する				
11/28 開	8:50～9:30 (40分) ＜個人ワーク②＞ ・個人ワーク①の続き	9:40～10:10 (30分) ＜講義②＞ 第三者所有による太陽光発電設備導入について	10:20～11:05 (45分) ＜外部講義②＞ 小規模自治体における区域施策編策定の取組紹介	11:15～12:00 (45分) ＜外部講義③＞ 地域新電力の取組紹介	(12:00～13:00)	13:00～14:00 (60分) ＜外部講義④＞ 地方公共団体が地域脱炭素に取り組む意義と現状（仮）	14:10～17:00 (170分) (休憩含む) ＜グループワーク1①＞ 区域施策編の施策をグループ別に検討する					
	●ワーク内容 ・個人ワーク①同様	・PPAガイドラインの内容と先進的な取組について紹介。(20分) ・質疑応答(10分)	・小規模自治体における地方公共団体実行計画区域施策編策定の背景、流れや具体的な施策・取組内容等をご紹介いただく。	・地域新電力における自治体と連携した地域脱炭素の取組について講義いただく。	昼休み	・地方公共団体が地域脱炭素に取り組む意義や必要性、留意点等とともに、先進的に取り組む自治体の活動事例等を紹介いただく。	●ワーク内容 ①再生可能エネルギー導入の促進 ②地域の事業者、住民による省エネその他の排出抑制の推進 ③都市機能の集約化、公共交通機関、緑地その他の地域環境の整備・改善 ④循環型社会の形成の施策を検討し、目標を定める →「テーマ別（教育、観光、福祉、防災等）×脱炭素」の施策をグループ別に検討する ⑤施策の実行プロセスや体制（事業者の巻き込み方、ターゲットとする補助金、参入を想定する地域ステークホルダー等）についても検討することとする。					
11/29 開	8:50～9:20 (30分) ＜グループワーク1②＞	9:30～11:30 (120分) (休憩含む) ＜グループワーク1②＞ 施策発表を通じ、多様な視点からの脱炭素について理解を深める。		(11:30～12:30)	(12:30～17:00) 現地見学							
	●ワーク内容 ・グループワーク発表準備	●ワーク内容 ・グループ毎に15分の発表を行う。(6グループ×15分=90分) ・質疑応答(15分)		昼休み	所沢市内及び周辺の再生可能エネルギー施設							
11/30 開	8:50～9:20 (30分) ＜個人ワーク③＞	9:30～10:15 (45分) ＜講義③＞ 地域共生型再生エネの導入について	10:30～12:00 (90分) ＜外部講義⑤＞ 再生エネ促進区域の設定に向けたゾーニング・合意形成の取組について	(12:00～13:00)	13:00～14:30 (90分) ＜グループワーク2①＞ 地域共生型再生エネを導入する際に必要な地域の合意形成について学ぶ（事前準備編）	14:45～15:45 (60分) ＜グループワーク2②＞ 地域共生型再生エネを導入する際に必要な地域の合意形成について学ぶ（実践編）	16:00～17:00 (60分) ＜個人ワーク④＞ 地方公共団体実行計画区域施策編策定作業					
	●ワーク内容 ・最終発表に向けた情報収集・整理	・地域における再生エネ導入の現状 ・地方自治体における対応（再生エネ条例等） ・地域脱炭素化促進事業制度	過年度の計画づくり支援事業での補助自治体が、自らの取組事例を取り上げ、ゾーニングや合意形成に係る手法・留意点等について講義いただく。20分×3団体=60分、全体質疑応答・意見交換20分	昼休み	●ワーク内容 ・地域に再生エネ導入の計画が持ち込まれたシチュエーションにおいて、如何に地域で合意形成を図るかを、架空の地域協議会を設定してロールプレイング形式で行う ・自治体職員役、民間事業者役、住民役、環境保全団体役、商工会議所役等 に分かれる ・2～3グループ合同で行う ・グループワーク④での実践に向けた準備パート	●ワーク内容 ・グループワーク③の続き ・ロールプレイングで実際に協議会を開催する	●ワーク内容 ・事前課題で収集した情報、ワーク①、②で設定したCO2排出量の推計結果や再生エネ導入目標に加え、グループワークの成果から各自自治体に適した具体的施策を選択し、統合・整理の上で各自自治体ごとの独自の区域施策編を策定する。 ・5日目のワークで行う調査、作業内容を洗い出す ※区域施策編の先行事例を用意しておく					
12/1 開	8:50～9:50 (60分) ＜個人ワーク⑤＞ ・個人ワーク④の続き	10:00～11:40 (90分) ＜ワーク成果発表＞ 目標：発表を通じ、多様な視点からの脱炭素について理解を深める。	11:50～12:10 (20分) ＜研修の講評＞		12:20～12:35 (15分) 閉講式							
	●ワーク内容 ・各所で所属自治体の区域施策編（簡易版）の完成を目指す。 ・10:00開始のワーク成果発表資料を完成させる	●ワーク内容 ・当日に事務局が指名した6名に区域施策編策定成果を1人10分程度で発表してもらい、10分×6人=60分その後、全体からの質疑応答(20分程度)を行う。	成果発表へのコメント、今後の脱炭素施策へのアドバイス		環境省 大臣官房 地域脱炭素政策調整担当 参事官 木野 修宏							

○使用教室：本館2階第6教室（予定）

注）現地見学について、荒天時は見学の一部を中止し、研修所におけるワーク等に変更する場合があります。小雨の場合は実施しますので、雨具等をご持参ください。

最終日の閉講式終了時刻は12:35を予定しておりますが、講義時間の延長等により若干遅れる場合があります。

帰路の航空機、列車等の都合により、講義や閉講式等を欠席することは認めません。